



地域とともに歩み、
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校
校報第140号
令和3年(2021年)2月12日
文責：校長 法山 由紀子

6年生と「ほっこりミーティング」

今日現在、6年生の卒業までのカウントダウンカレンダーの数字は、「24」。小学校生活も残りわずかとなりました。

2月のはじめから、卒業前の6年生を順番に校長室に招待して、「ほっこりミーティング」を行い、素敵な時間を過ごしています。どのチームがやってきても、どんなことも安心して言える雰囲気があり、そんな中で自分の思いを素直に語ってくれる姿が見られます。「この子たちが愛おしい！」と思える瞬間がいくつもあって、「ほっこりミーティング」の時間を心待ちにしている私です。

「もし、タイムマシンがあったら」という質問に、「もう一度、修学旅行の日にもどりたい」と答えてくれた子がいました。こんなうれしいことを言ってくれる子がいて、今年度コロナ禍の中、保護者のみなさんのご理解を得て、修学旅行を行うことができ本当に良かったと改めて思いました。「心に残る思い出」という問いに、「5年生のときに初めて委員会に入った。そのときの6年生がかっこよくて、自分もあなりたいと思った。」と答えてくれた子。今も同じ委員会で、その姿を追いかけてがんばってくれているとのこと。「きっと、今、あなたの姿を目指す5年生がいるよ。」そんな思いにさせられました。これから、まだまだミーティングは続きます。今回は、6年生が在校生へ残してくれたメッセージをいくつかご紹介します。



「卒業生から在校生にひとこと」・・・あなたたちからもらった言葉、大事にしたい。

- みんな、いつも笑顔でね。
- あいさつをして、地域の人にも笑顔にしてください。
- 5年生へ。これからは一人ひとりがリーダーとしてみんなを引っ張ってください。
- 勉強は大変だけど、先生の話聞いていたら大丈夫だよ。
- 恋愛もがんばってね。
- 失敗をおそれず、チャレンジしてください。
- コロナが続くけどあきらめずに、やったことのないことにチャレンジしてください。
- みんなでもっともっと石部小学校をいい学校にしてください。

「生きる」ってすてき！

令和2年度「湖南省の小さな詩人たち事業」の小学校4～6年生の「詩部門」において、本校6年生の北村結愛さんの作品が優秀賞に選ばれました。

この作品は、今年度の運動会で団体演技のテーマが「生きる」であったことから、結愛さん自身が「生きるってどういうことだろう」と改めて自分に問いかけて生まれたもの。

1月21日(木)に石部文化ホールで行われた表彰式では、結愛さんが入賞作品を暗誦し、ステージ上から堂々と発表しました。

また、同じ詩の部門で6年生谷俊輔さんの「私は石」(次回紹介)と五七五部門で5年生中本浩太さんの作品が佳作に入賞しました。

生きる
石部小学校
六年 北村 結愛

生きる
生きる喜び
自分と向き合う
今つながる
大切にしたいこと
つながる
今、動く
生きていることに感謝し
一生を大切にす

生きているから
喜べる
向き合える
つながれる
大切にできる
動ける
みんなと自分を大切にす

